



## 2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月3日

上場会社名 岡野バルブ製造株式会社  
 コード番号 6492 URL <http://www.okano-valve.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡野 武治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 木村 浩一  
 四半期報告書提出予定日 2020年7月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 福  
 TEL 093-372-9215

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年11月期第2四半期の連結業績(2019年12月1日～2020年5月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	2,740	△3.5	△181	—	△132	—	△14	—
2019年11月期第2四半期	2,838	△19.3	△521	—	△494	—	△379	—

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △53百万円 (—%) 2019年11月期第2四半期 △414百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	△8.13	—
2019年11月期第2四半期	△219.00	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	12,168	8,392	69.0
2019年11月期	12,844	8,491	66.1

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 8,392百万円 2019年11月期 8,491百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年11月期の連結業績予想(2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,400	△4.0	15	—	110	—	180	—	104.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年11月期2Q	1,793,000 株	2019年11月期	1,793,000 株
② 期末自己株式数	2020年11月期2Q	69,663 株	2019年11月期	64,653 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年11月期2Q	1,727,584 株	2019年11月期2Q	1,735,011 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、世界規模での経済活動の落ち込みが見られ、国内においても緊急事態宣言による外出自粛要請を受け、企業活動や個人消費活動が大幅に制限されたことで景気が急速に悪化いたしました。

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループの事業環境につきましては、女川原子力発電所2号機において新規制基準に基づく安全審査の合格が決定したものの、安全対策工事の工程見直しにより工事完了時期が遅延したことから再稼働時期が流動的であり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、バルブ事業におきましては、主に国内外の新設火力プラント向け受注が減少し、また国内の原子力プラント用設備の受注が延伸されるなど、新型コロナウイルス感染症や外部環境の影響を受けつつ、計画案件であるインドネシアの新設火力発電所であるチレボン石炭火力発電所2号機、柏崎刈羽原子力発電所7号機、神戸製鋼神戸発電所3号機、4号機向けの販売に注力いたしましたが、一般的に小口案件主体であったことから売上高は低調に推移いたしました。

メンテナンス事業におきましては、女川原子力発電所2号機の点検工事の一部が第3四半期以降に延伸となったものの、柏崎刈羽原子力発電所6号機、7号機の設備設置工事などの売上追加案件もあり、概ね計画通りの業績となりました。

新規事業におきましては、新型コロナウイルス感染症等の影響により売上案件の一部が延伸となったものの、概ね計画通りの業績で推移いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,740百万円（前年同期比3.5%減）となりました。また、利益面につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う売上高の減少が影響し、営業損失181百万円（前年同期は営業損失521百万円）、経常損失132百万円（前年同期は経常損失494百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失379百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ676百万円減少し、12,168百万円となりました。この主な要因は、仕掛品が271百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が992百万円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末と比べ577百万円減少し、3,776百万円となりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金が247百万円、長期借入金が156百万円、未払費用が125百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末と比べ99百万円減少し、8,392百万円となりました。この主な要因は利益剰余金が48百万円減少し、自己株式が11百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第3四半期以降におきましては、バルブ事業では、主要案件として玄海原子力発電所3号機、4号機向け特定重大事故等対処施設用弁の販売を予定しております。また、メンテナンス事業では女川原子力発電所2号機向けの点検工事やJERA碧南火力発電所4号機向け弁修理工事などが計画されていることから、売上高は増加傾向で推移し、これに伴い利益面も回復に向かうものと見込んでおります。

従いまして、現時点では2020年6月17日に修正いたしました業績予想数値に変更はありません。

ただし、これらの予想および進捗は、新型コロナウイルス感染症の影響を含め、今後の受注環境や顧客納期の変更等、様々な要因により変動する可能性を含んでおります。今後の経過を注視しつつ、開示すべき事象が発生した場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,908,510	2,985,224
受取手形及び売掛金	4,022,940	3,030,727
製品	147,113	139,427
仕掛品	989,100	1,260,510
原材料	115,462	135,005
その他	44,679	198,625
貸倒引当金	△17,000	△17,000
流動資産合計	8,210,807	7,732,522
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,647,866	1,594,594
機械装置及び運搬具(純額)	1,824,966	1,686,971
その他(純額)	364,943	319,644
有形固定資産合計	3,837,776	3,601,210
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	491,535	463,150
繰延税金資産	190,756	234,585
その他	102,688	97,178
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	781,380	791,314
固定資産合計	4,633,956	4,435,869
資産合計	12,844,764	12,168,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	400,560	341,909
1年内返済予定の長期借入金	312,612	312,612
未払費用	227,975	102,386
未払法人税等	17,293	50,119
賞与引当金	28,647	113,374
その他の引当金	33,749	62,786
その他	244,792	104,018
流動負債合計	1,265,630	1,087,206
固定負債		
長期借入金	2,109,235	1,952,929
役員退職慰労引当金	282,138	35,100
退職給付に係る負債	696,226	700,843
固定負債合計	3,087,600	2,688,873
負債合計	4,353,230	3,776,079
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,286,250	1,286,250
資本剰余金	543,750	543,750
利益剰余金	6,853,736	6,805,126
自己株式	△213,748	△225,021
株主資本合計	8,469,987	8,410,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	34,435	443
退職給付に係る調整累計額	△12,889	△18,236
その他の包括利益累計額合計	21,545	△17,792
純資産合計	8,491,533	8,392,312
負債純資産合計	12,844,764	12,168,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
売上高	2,838,019	2,740,025
売上原価	2,781,650	2,447,232
売上総利益	56,368	292,793
販売費及び一般管理費		
役員報酬	89,865	65,956
給料手当及び賞与	165,552	139,905
賞与引当金繰入額	19,979	17,095
退職給付費用	9,133	8,373
役員退職慰労引当金繰入額	8,725	6,563
減価償却費	13,446	10,453
貸倒引当金繰入額	17,000	—
その他	254,600	225,939
販売費及び一般管理費合計	578,302	474,287
営業損失(△)	△521,933	△181,494
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	4,236	4,933
持分法による投資利益	14,683	20,355
受取賃貸料	13,689	13,807
その他	7,050	16,944
営業外収益合計	39,668	56,048
営業外費用		
支払利息	4,189	3,841
減価償却費	983	983
その他	6,832	2,178
営業外費用合計	12,005	7,003
経常損失(△)	△494,270	△132,449
特別利益		
受取補償金	—	131,739
特別利益合計	—	131,739
特別損失		
固定資産除却損	16,244	—
臨時損失	—	7,968
特別損失合計	16,244	7,968
税金等調整前四半期純損失(△)	△510,514	△8,677
法人税、住民税及び事業税	6,096	40,200
法人税等調整額	△136,642	△34,835
法人税等合計	△130,545	5,365
四半期純損失(△)	△379,969	△14,042
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△379,969	△14,042

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純損失(△)	△379,969	△14,042
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△35,131	△33,991
退職給付に係る調整額	850	△5,346
その他の包括利益合計	△34,281	△39,338
四半期包括利益	△414,251	△53,380
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△414,251	△53,380
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失 (△)	△510,514	△8,677
減価償却費	242,852	230,971
賞与引当金の増減額 (△は減少)	88,224	84,727
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,182	5,024
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,725	△247,038
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	17,000	—
受取利息及び受取配当金	△4,244	△4,942
支払利息	4,189	3,841
持分法による投資損益 (△は益)	△14,683	△20,355
固定資産除却損	16,977	874
受取補償金	—	△131,739
売上債権の増減額 (△は増加)	1,527,786	992,213
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△218,385	△283,268
仕入債務の増減額 (△は減少)	△84,854	△58,650
その他	11,505	△237,654
小計	1,093,758	325,327
利息及び配当金の受取額	4,244	4,942
利息の支払額	△4,189	△3,841
補償金の受取額	—	5,891
法人税等の支払額	△11,061	△7,072
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,082,753	325,247
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△52,752	△20,980
固定資産の除却による支出	△13,887	△20
無形固定資産の取得による支出	△2,500	△25,338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,139	△46,339
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	—	△156,306
配当金の支払額	△34,536	△34,614
自己株式の純増減額 (△は増加)	△5,359	△11,273
財務活動によるキャッシュ・フロー	△39,895	△202,193
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	973,718	76,714
現金及び現金同等物の期首残高	2,225,636	2,778,510
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,199,354	2,855,224

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大により、当社グループでは売上計画の一部延伸、また、生産量の減少による工場操業度の低下の影響を受けております。

このような状況により、当連結会計年度中は一時的な需要低下があるものの、感染拡大の収束、経済活動の再開に伴い当事業年度末に受注状況が徐々に回復していくと仮定しており、繰延税金資産の回収可能性および固定資産の減損の兆候判定等の会計上の見積りについては、当該仮定を反映しております。

なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積りおよび仮定とは異なる可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,866,769	971,249	2,838,019	—	2,838,019
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,866,769	971,249	2,838,019	—	2,838,019
セグメント利益又は損失 (△)	△177,706	18,142	△159,563	△362,370	△521,933

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△362,370千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	バルブ事業	メンテナンス 事業	計		
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	1,368,914	1,371,111	2,740,025	—	2,740,025
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,368,914	1,371,111	2,740,025	—	2,740,025
セグメント利益又は損失 (△)	△193,708	297,914	104,205	△285,700	△181,494

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△285,700千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。